



みさきっ子

第 4 1 号
喜屋武小学校学校新聞
発行者：校長伊川治美

三学期 スタート

始業式で園児・児童が新たな決意



年が明けた 1 月 6 日（水）、幼稚園児が参加しての第三学期の始業式が行われ、園児 1 名、児童 8 名が代表して三学期の決意を述べました。

気持ちも新たにした第三学期の始業式は、教頭先生による開会の言葉に始まり、全員で高らかに校歌を歌い、志気を高めました。その後、喜屋武幼稚園児こほりばたりんさん、2 年生仲西美春さん、仲門亮さん、小堀端乙能さん、4 年生の新田星空さん、玉那覇翼さん、6 年生の新垣滯さん、千葉悠平さん、北谷朋輝さん、以上 9 名の園児・児童の皆さんが、希望を弾ませ堂々と発表しました。代表した園児・児童の「決意の言葉」（要約）は以下の通りです。

- 幼稚園こほりばたりんさん ①あいさつがじょうずになりたい。②早寝早起きをしたい。
- 2 年生仲西美春さん、 ①あいさつがきちんとできること。②算数のお勉強や読書をする事。
- 〃 仲門亮さん、 ①字をていねいに書くこと。②一輪車に乗れることや姿勢を正しくすること。
- 〃 小堀端乙能さん、 ①一輪車に乗れること。二重跳びで 5 回以上できることや字をていねいに書くこと。
- 4 年生の新田星空さん、 ①先生の話を中心して聞くこと。②苦手な教科を勉強することや習った漢字を使うこと。③忘れ物を減らすこと。
- 〃 玉那覇翼さん、 ① 2 学期に学んだことをもとに今学期チャレンジすること。習った漢字を使うこと。
- 6 年生の新垣滯さん、 ①体育や算数の勉強に頑張ること。言葉遣いや機敏な行動をすること。コツコツと頑張ること。
- 〃 千葉悠平さん、 ①整理整頓ができること。丁寧に字を書くことや目標を持って頑張ること。
- 〃 北谷朋輝さん、 ①整理整頓をすること。字を丁寧に書くこと。

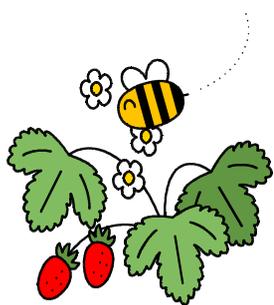


以上 9 名の園児・児童の皆さんが、希望を抱き堂々と発表しました。

園児・児童の発表後校長より

- ① 1・2 学期は、日頃の学習態度が良く学習意欲があったことや学校行事及び対外行事（大会・コンクール）にも一生懸命であったこと。
- ②大きな木（夢・希望）になるためには、根（日頃の生活や学習）を太く、丈夫にすること。そのためには、コツコツと日頃の勉強や生活態度をきちんとすること。
- ③「継続は力なり」「ローマは一日にして成らず」「ちりも積もれば山となる」の言葉通り、日頃からコツコツ励んでほしい。
- ④ 3 学期は別れの学期。6 年生の先輩や離任する先生方に感謝したいもの。
- ⑤校門前の石碑にある「大きな夢をもて」「強く・かしこく・美しく」をモットーに頑張ろう。

以上の話の内容で激励しました。



新春行事・・・書き初め・駅伝大会の二大行事

新春書き初め大会

新春校内駅伝大会 駅伝大会

新年の心構えを新たにすることをねらいとした「校内書き初め大会」が 1 月 8 日（金）体育館で行われ、3 年生以上の児童の皆さんは、書道お手本を見ながら、筆を動かしました。また、低学年の児童の皆さんは、各教室で硬筆のお手本を見ながら丁寧に書きました。書道講師に玉城栄子さんをお招きし基本的な止め、ハネ等の技法を指導して頂き、また、一人一人の指導に関わって頂きました。なお、本書き初め大会での作品は、新報書き初めコンクールに出品する予定です。なお、保護者の皆さんにも手伝ってもらいました。ありがとうございました。



<書き初めのようす>

新春の風を受けながら、協力のタスキをつなぎゴールを目指す「第 1 回新春校内駅伝大会」が 1 月 9 日（土）に行われ、低学年と中学年は 0.6 キロ、高学年 0.7 キロの健脚を競いました。各学年の部とも 3 チームが出場。デットヒートする場面も多々あり、応援する保護者や児童、職員の歓声に包まれました。本大会は、新春に相応しい大会でした。競技の結果、優勝チームは、低学年が「みどり」チーム、中学年が、「ピンク」チーム、高学年は「きいろ」チームでした。



<チ-ム団結のようす>

お知らせ

インフルエンザ マスク着用

インフルエンザが流行する兆しがあり本校では、1 月 1 5 日現在 8 名の児童が感染症で休んでいます。特に、3 年生は、5 名が感染しており学級閉鎖に至りました。各家庭におきましてはご理解の程宜しく願います。なお、引き続き他学年の感染者がいますので、集団行事等への参加は、慎んでいただきますようお願いいたします。また、ご家庭におきましても感染防止に努めてくださいようお願いいたします。

糸満市教育の日（学力向上実践）

喜屋武幼稚園の活動について発表

糸満市教育の日の1月9日（土）糸満市学力向上推進実践発表会がA部会会場（高嶺小）とB部会会場（西崎小）に別れ各発表校が学力向上への取り組みについて発表しました。本校はA部会会場に指定され、喜屋武幼稚園、兼城小学校、真壁小学校、高嶺小学校等の発表を聴く機会となりました。各学校の発表の前に「第15回全国こども陶芸展 in かさま」に於いて文部科学大臣賞を受賞した本校3年生新里友唯さんが、本年度顕著な活躍をした児童生徒へ授与する「糸満市長賞」を受け二重の喜びとなりました。また、受賞者を代表してお礼の言葉も述べました。

学校発表の部では、喜屋武幼稚園教諭の伊敷千秋先生が「①学び合い高め合う保育（共同して遊ぶ力の育成）、②生活リズムの確立及び健康・体力の向上、③地域の資源を活用した保育の展開、④保護者とともに自立心や自尊心を育む園づくり」等について発表しました。本実践発表会は、他校の実践報告を聞くことによって本校の優れている点や改善すべきことが明確になった貴重な機会でした。さらに、糸満市長賞受賞は、全児童にとって励みになりさらなる期待が持てる大会でした。



<発表前の様子>



子どもが育つ魔法の言葉より

ドロシー・ロー・ノルト著

レイチャル・ハリス

- 「人の気持ちを思いやることの大切さ」 -

子どもは、親に支えられ、教えられて、人の世の掟（おきて）を学んでいきます。しかし、あまりにも子どもを厳しく叱りつけると、子どもはおどおどし、罪悪感を持つようになってしまいます。これでは、かえって逆効果です。子どもは、萎縮し、やる気を失ってしまうからです。子どもを厳しく叱りつけるのは、よいことではありません。それよりも、子どもに、なぜこんなことになってしまったのか、自分の行動を振り返らせるように導くほうが、ずっと子どものためになるのです。

子どもの話に耳を傾け、子どもの立場や意図を理解するように、親は常に心がけたいものです。そうすれば、子どもは自分の行動に自らすすんで責任を取ろうとします。そして自分の失敗を素直に認めるのです。そんな時、親は、カッとして感情的にならないことが大切なのです。

そう言っても、幼い子どもは自分中心に生きています。親は忍耐が必要です。けれど、そんな幼い子どもも成長するにしたがって、正邪の判断がつくようになり、責任感を身につけてゆきます。心配いりません。子どもの心に、相手への思いやりの気持ちが育ってゆけば、自分の過ちを心から謝罪することができるようになります。子どもは、素直に償いをしようと思えるようになるでしょう。このような学びの体験を重ねることこそが、子どもの成長には大切なのです。厳しく叱りつけられて、おどおどし、罪悪感に苛（さいな）まれては、前に進むことはできないのです。

朝の清掃活動 児童会

毎日正門前の草花手入れ！

登校してからの朝の清掃活動。本校児童の皆さんは、校内の清掃場所へ「竹ぼうきやちりとり」を持ってそそくさと向かう毎日です。朝のあいさつもしっかりでき丁寧な清掃から明るくきれいな学校になっています。

特に児童会（渡慶次汐音、宮西勇璃、新里察得さんら3名）は、地域の方々が通う正門前の道路沿いの花園を丁寧に手入れし繁茂している雑草を丁寧に取り草花を植えています。

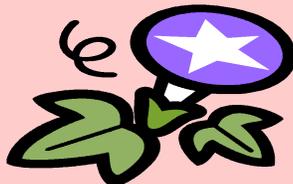
児童会は、朝登校するとすぐさま道路沿いの花壇の草花の手入れ、散水、雑草取りを始めます。この10ヶ月間（夏休みを除く）、継続した結果雑草も少なくなり、季節の花が咲いています。保護者や地域の方々からも「きれいですね」とお褒めの言葉を頂くことがあります。



顧問の天久勤子教諭（4年担任）は、「もくもくと頑張っている姿に感心します。学校や地域の環境に頑張ってもらいたい」と激励しています。

校長の私からみても、早朝に拘わらずまめに草花への散水や雑草取りをしている姿に顧問と同様、感心します。

春三月、花園にはたくさんの草花が咲き乱れ、桜の木にもピンクの花が咲く良いですね。



2月 今月の予定



日	曜	主な行事
1	月	2月学力向上強化月間 読み聞かせ
2	火	スキルアップ 安全点検日 委員会活動
3	水	体育朝会
10	火	校長講話 三和中オリエンテーション
11	木	建国記念日（公休日）
12	金	新入生保護者説明会 職員会議
13	土	13歳祝い（5年生）
15	月	職員会議 読み聞かせ
17	水	第2回学校保健委員会
24	水	県学力到達度調査
25	木	4年生黒砂糖づくり（総合）
26	金	職員会議
29	月	読み聞かせ、劇団四季演劇鑑賞5・6年鑑賞

学んだことを！県到達度調査日程



日程：平成28年2月24日（水）
 調査科目：第3学年 国語・算数
 第4学年 算数のみ
 第5学年 国語・算数・理科
 第6学年 算数のみ